



故鳥山明さん享年 68 歳_自画像



声優 TARAKO さん_享年 63 歳

8日は“国際婦人デー”、そして今日は東京大空襲から79年、明日は3.11東日本大震災・原発事故から13年の節目、元日に起きた能登半島地震の被災地の現状と重ね合わせて心が痛みます。“復興”という観点からみれば、東日本大震災の被災地はかなり回復していると思われませんが、死者15900人、行方不明者は2520人、震災関連死は3802人と傷あとの大きさを数字が物語っています。いまだ避難生活を強いられている人が29000人、故郷に戻りたくても戻れない人たちが見知らぬ土地で厳しい生活を強いられています。奥能登も人口流出が続いているとのこと、水道、電気などのライフラインが復旧しないとここも戻るに戻れない状況が続くのだろうと思われま。海岸線が隆起したことで漁港の大半が使えないので、漁師の皆さんの生活もままならない、それもとても気の毒です。原発の汚染水で漁ができない福島周辺の漁師さんたちとはまた違う苦しみがあるのだろうと思います。岸田さんも自分たちの尻ぬぐいで、ウロウロオロオロしてないで、早く被災地へ手厚く税金を注いでいただきたい、そして少しは支持率が上がるかもね。

5日の参院予算委員会で岸田さんは、英国、イタリアと共同開発する次期戦闘機などの第三国輸出の必要性を強調していました。“わが国の防衛に支障を来さないようにするため、直接移転を行い得る仕組みを持ち、英国、イタリアと同等に貢献し得る立場を確保することが国益だ”そうです。そうなんですか？別に英国やイタリアと同等でなくても、戦争で痛い思いを経験した日本として貢献できる方法はありませんか。その“国益”って武器を売って金儲けするってことなのではないでしょうか。“日本から輸出できないと他

国の信頼を失う”などと外圧を理由一へ理屈一に法の解釈の変更をせかしているようにも見えます。これに公明党も右往左往した結果、容認。“平和の党”とやらはどこへ行っちゃたんでしょうか。本日朝刊の東京新聞“本音のコラム”前川喜平さんの論評です。

金魚のコバン雪 3月10日付

前川 喜平 — 現代教育行政研究会代表 —

後ろからただ付いていくのが「金魚の糞」。大きい者にくっ付いておこぼれをあずかるのが「コバンザメ」。踏まれても踏まれても付いていくのが「下駄の雪」。今の公明党はどれだろう？

英国、イタリアと共同で開発する戦闘機の第三国への輸出について、公明党の山口那津男代表は昨年12月、「国民の理解を得られるような議論が重要」「コンセンサスが形成されているとは思えない」と発言し、慎重な姿勢を示した。

やっぱり「平和の党」だった。さすがにここは自民党に抗うのか。…などと思ったのは僕の気の迷いだった。公明党は一定の歯止めを条件に戦闘機輸出を容認する方向で検討に入ったという。戦闘機が輸出できるならミサイルも戦車も空母も輸出できない理由はない。「死の商人」国家への道を開くことになる。

連立を組んだ当初の公明党はもう少し骨があった。2006年の教育基本法改正では、自民党の主導で「国を愛する態度を養う」「道徳心を培う」などの文言が盛り込まれたが、「個人の尊厳を重んじる」「学問の自由を尊重する」などの文言を残したのは公明党だった。あの頃の公明党には、何でも自民党の思う通りにはさせまいとする姿勢があった。

そんな姿勢はもう見えない。結局、公明党はいつまでも与党でいたいだけなのだろう。

池田大作さんが亡くなって、タガが外れちゃったのかな？創価学会も高齢化で会員が激減、聖教新聞の発行部数もジリ貧で、以前の勢いは削がれているところに、跡目争いで組織はグチャグチャ、公明党の後ろ盾も危うくなってきているので、今般自民党に尻尾フリフリしているのかな？そのうち日本維新の会に与党の座を奪われるかも…。でも大阪万博でコケたら日本維新は終わりかもね。

一昨日、“Dr.スランプ&ドラゴンボール”の漫画家鳥山明さんが、そして昨日は“ちびまる子ちゃん”の声優 TARAKO さんの訃報が届きました—どちらもまだ 60 歳代—。個人的には、どちらも僕が 30 歳頃になってから少年ジャンプやりぼんなどへの漫画本の連載がスタートし、その後アニメ化されているので、あまりリアルタイムでの馴染みは薄いのですが、子どもたちが毎週テレビの前にくぎ付けになっていたりと、ドラクエの TV ゲームにハマったりと一世風靡どころではない、現在でも世界中のファンを虜にしています。鳥山さんの印税収入は年 14.8 億円、生涯収入 235 億円だそうです—それにしても大谷選手の 1015 億円ってスゴイ！—。また TARAKO さんはスタートから

ちびまる子役を務めていたので、代役が決まるまでの間、過去の作品を放送することとこちらでも偉大な人物を喪った感があります。僕はもう漫画本もアニメもまったく目にするのがなくなったので、彼らに続く人たちのことは分かりませんが、一つの時代を創りあげたクリエイターとしての存在感は大きいのだらうと思います。

放送作家・鈴木おさむさんが提唱した“ソフト老害”という言葉が今話題となっています。鈴木さんは今年3月末で放送作家を引退することを明かしましたが、そのきっかけの一つは、“大御所”である自分の一言で構成が変わり、若手が作った映像がボツになったことだったそうです。こうしたこともあり鈴木さんは自身が“老害”であることを認識したそうです。自分を含め、一定のポジションを得た人間であれば、年齢に関係なく老害的な言動を取ってしまうことがよくあります。そのため、次のようなことを心がけるようにしているとの記事がありましたが、日常的にできることではないようにも思えます。

◎ 誰であろうと敬語で喋る

◎ メールの返事はすぐにする

◎ 自分のやり方を押し付けず、やりたいことを提案されたらほとんどの場合「それ、いいですね！」と相手を立てる

◎ 若手から飲みに誘われたら時々おごる

◎ 何か問題があっても謝罪するのは自分という決まりにした

恐らくこれらをやすることで周囲から“老害”だと思われることはなくなるかもしれませんが。ソフト老害のケースで代表的な例は、プロ野球のキャンプに訪れるOBや野球評論家。さすがに現在の60歳代以下のOBは、金田や張本みたいに“ワシらの時代の方がスゴかった”的な物言い—こっちはただの“老害”—はせず、最新のトレーニング法を尊重し、選手や監督・コーチをホメていますが、高齢のOB評論家は“ワシらの頃は1シーズンを乗り切る体力を作るため、走り込みをしたものだ”“筋トレをするよりも素振りをしなさい”現役選手側からすると“うるせーな！”と思われているかもしれません。ダルビッシュや大谷選手たちのような背中を見せられたら、長老の皆さまには黙って。TV番組で老後の小遣い稼ぎみたいなもの、自分も気をつけなくては…。

昨日は“国際婦人デー”…日本は女性活躍の状況は世界最下位、セクハラ、パワハラてんこ盛りの国です。夫婦別姓や同性婚などでもガラパゴスのような世界になっています。なんのことはない、自民党安倍派が選挙票欲しさに旧統一教会の教義に丸め込まれてなかなかウンと言えないだけ、そこを排除すればすべてはスムーズに解決するとは思いますが…。“こども家庭庁”だって、元々の“こども庁”に戻せばいいのに、こどもを親の暴力から守るために創設したお役所なのに、旧統一教会に脅されて、しかもそれが発覚しても名称変更をしなかった、今となればその罪は重い、“死人に口な

し”の安倍さんの影がいまだチラチラしています。東京新聞“本音のコラム”斎藤美奈子さんの論評です。

99のセクハラ 3月6日付

斎藤 美奈子 — 文芸評論家 —

99件のセクハラで辞任した岐阜県岐南町の小島英雄町長。町のHPで公開された第三者委員会の調査報告書は92ページに及び、調査報告とはなべてこうありたいと思わせるものだった。

町長と接触のある部署の職員193人の回答率は83%(男女比はほぼ半々)。うち男性54%、女性58%が「町長から不快な行為をされたことがある」、男性85%、女性81%が「自分以外がセクハラやパワハラを受けていると感じたことがある」と答えている。町長の行為は常態化していたのだ。99件のざっと見て3タイプ。

- ① 身体接触系(頭をポンポンと触る、手を触ったり触らせたりする、お尻を触る、肩を抱く、太ももに手を置くなど)
- ② 身体的発言系(服装を見て、その下に何か履いとるんかと問う。かがめ、立て、後ろを向けなどと要求する)
- ③ 私生活介入系(子どもはつくらんのか。彼氏はおるんか、更年期じゃないのかなどと訊く)

特に目立ったのは①。個々の案件は軽微に思えても、こういう人がトップにいること自体が職場の環境を悪化させる環境型セクハラだ。もって他山の石とすべし。セクハラを避ける心得は「見ない、訊かない、触らない」だ。私生活に踏み込まない。45センチ以内の距離に近づくのも職場ではNGだ。

この元町長、74歳とのことなので、僕とそんなに変わらないけど、なんか時代錯誤もいいところ。4年前に次点の候補者とわずか4票差で当選したそうで、就任直後からセクハラ、パワハラオンパレードだったそうです。よくここまで持ったものだと思います。でもこの調査委員会の報告書ってすばらしい。自民党の裏金調査も少しは見習ったらいかがですか、岸田さん？

高級腕時計レンタルの“トケマッチ”という会社の元代表が、所有者から預かった高級時計を月額制でレンタルして、第三者に貸し出しそのリベートを所有者にキックバックするといいいながら、売却したカネをドバイへ持ち逃げした横領の罪で国際手配されたとのこと。ん～、よく分からないのですが、お金持ちがロレックスを財テクがらみで何本も持ってて、そのうちの何個かをレンタルに出したんでしょうか。まあ、被害に遭われた方は気の毒に思いますが、なんか最初からうさん臭い話にしか思えません。ビンボー人には別世界の話で、まあご勝手にと言いたいところ。す。

ウクライナもパレスチナの紛争も膠着状態に陥っています。NATO加盟の欧米諸国も支援疲れで自国の経済が危うくなっているようにも思えます。米国大統領選の“もしトラ”が現実味を帯びてきていますが、再びのトランプ、お願い、もうコケッコーです。